

第3学年 道徳科学習指導案

平成29年10月24日（火）第5校時

1 主題名 理想の実現 内容項目「A 強い意志」

2 ねらい 納得できる生き方や自分らしい生き方を追求し、たとえ困難や失敗があっても乗り越えてやり遂げようとする態度を育てる。

教材名「縦糸と横糸～秩父銘仙を受け継ぐ～」

出典 彩の国の道徳「自分を見つめて」埼玉県教育委員会

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

納得できる自分らしい生き方とは、充実したよりよい人生を送りたいと願う気持ちから追求されるものである。自分らしい生き方を追求する過程で様々な困難や壁にぶつかることも多く、時には失敗を経験することもある。挫折や失敗を乗り越えて、納得できる生き方に向かって努力し続けるには、自己の弱い内面に打ち勝ち最後までやり遂げようとする強い意志を養うことが必要である。

心から打ち込めることに出会え、新しい生き方を発見できたときの満足感や充実感、自分が行ってきたことへの自信や新たな目標へのやる気につながっていく。

指導に当たっては、納得できる生き方や自分らしい生き方を追求することの大切さと、困難や失敗があってもそれを乗り越え、やり遂げようとする強い意志を持つことの大切さに気付かせたい。

(2) 生徒のこれまでの学習状況及び実態について

道徳の授業はもとより、第2学年の総合で職場体験学習を経験し、ふれあい講演会では青年海外協力隊へ参加された方のお話を伺うなど、様々な職業や生き方について知り、望ましい生き方や納得がいく生き方について考えを深めてきているが、第3学年としても徐々に進路について考えが深まってきている時期でもある。家業を継ごうと思っている生徒、将来の夢のために専門学科進学を目指そうと思っている生徒、普通科に進学をして夢を見つけようと考えている生徒など、進学先を絞り込んできている生徒もいる。しかし、目指した目標や生き方に簡単に手が届く訳ではない。勉強に取り組んでいても、成績が思った以上に伸びず、焦りを感じている場合もある。私立受験まであと数か月となったこの時期に、納得がいく生き方、自分らしい生き方に向かって努力し続けようとする気持ちを高めたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、伝統の秩父銘仙の機屋を継ごうとした主人公が、自分らしい納得のいく生き方に向かっていく中で挫折に心が挫けそうになりながらも、先輩の機織り職人からの一言で、自分の選んだ道をひたむきに進んでいこうと心新たにすることが描かれている。

この教材を通して、主人公「私」の心の変容をとらえさせながら、自分らしい納得できる生き方に向けて、挫折や失敗や自己の弱い内面に打ち勝ち、最後までやり遂げようとする強い意志の大切さについて考えさせたい。

そのために、本時の話し合いでは、以下の3つの発問を中心に、ねらいに迫りたい。第1発問を通して母から本当の父の気持ちを聞いた時の「私」の気持ちをおさえ、父の本音を知る前と比較して、銘仙を継ぎたい気持ちと継ぐことへの不安な気持ちと相反する気持ちがあることをとらえさせる。第2発問では、覚悟を決めて機織りの世界に飛び込んだものの思うようにいかず、「私」の気持ちが

揺れていることをとらえさせる。第3発問では、機織り職人の木村さんの言葉で「私」が納得した生き方を追求するには困難に打ち勝つ強い意志が大切であることに気付いたことをとらえさせる。以上のことから、本主題を設定した。

4 学習指導過程

段階 (分)	学習活動（主な発問）	予想される生徒の反応	指導上の留意点 ☆評価の観点
導入 (5)	1 秩父銘仙について説明する。 自分らしい納得できる生き方に向かって努力することについて考えよう。		・教材の内容に興味や関心を持たせる。
展開 (35)	2 教材を読んで話し合う。 (1) 父に対して反感すら持っていた主人公が、父の本音を聞いてどんなことを考えたか。 (補助) 予想と正反対の父の言葉を聞いたときの「私」の気持ちはどうだっただろう。 (2) 上手く機が織れない「私」。このまま続ける？それとも辞める？自分が「私」だったらどうするだろうか。 (補助) 自分でやりたくて決めたことなのになぜ迷うのか。 (3) ベテラン職人の木村さんの言葉にはっとして、目の前が明るくなったのは、どんなことに気付いたからだろうか。	・勝手に誤解して反発し、ごめんなさい。 ・何といわれてもやはり銘仙を継ぎたい！ ・現実には厳しそうだから不安になってきた。 ・喜んでくれると思ったのに。 ・せっかく継ぐといっているのにどうしてそんなことを言うのか。 (活動) 4人グループになり、それぞれの意見を発表し、話し合わせる。 ・一度、決めたことだから諦めず頑張りたい。 ・伝統を絶やしたくない。 ・給料も安く、需要もないことに不安がある。 ・若ければ、他の職業にも転職できる。今しかない。 ・自分で継ぐと決めたのに、続けるかやめるかでフラフラしている気持ちが機織りの糸に出てしまっていたのかもしれない。 ・もう一度、銘仙を継ぐという強い意志で機を織ってみよう。	・何をいわれても銘仙を継ぎたい気持ちと、銘仙を継ぐことの厳しさを感じる主人公の相反する気持ちをおさえる。 ・父から思いがけない言葉を言われた「私」の反発する気持ちに共感させる。 ・機織りの世界に飛び込んだものの、上手く機を織れなくなったときの「私」の葛藤をおさえる。 ・機織りの縦糸が自分自身の信念と同じで、強くしっかりとしていることが大切であることに気付かせる。 ☆納得する生き方を追求するためには、

			自身の強い気持ちが大切であることに気付いたか。
終末(10)	3 本時の学習課題について気付いたことや考えたことをまとめる。 (1)校長先生をゲストティーチャーとして話を聞く。 (2) 授業で考えたこと、感じたことをワークシートにまとめる。		・授業を振り返りながら、書く活動を通して学習課題について考える。 ☆ねらいとする価値について、自分に重ね合わせて、主体的に自覚できたか。

5 他の教育活動との関連

事前指導	・帰りの会で、「将来の夢」や「理想の人生像」について生徒の実態を把握するためのアンケートを実施する。
道徳科	・教材名「縦糸と横糸」 納得できる生き方や自分らしい生き方を追求し、たとえ困難や失敗があっても乗り越えてやり遂げようする態度を育てる。
事後指導	・帰りの会で本時の感想をクリアファイルに掲示する。

6 評価の観点

〈生徒の学習状況の評価〉

・自分らしい納得のできる生き方を追求するために、強い意志を持ち努力することの大切さに気付いたか。

〈生徒の道徳性に係る成長の様子の評価〉

・自分らしい納得のできる生き方を追求するために、困難や失敗を乗り越えて頑張っていこうという気持ちが芽生えたか。

7 板書計画

